



特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会
2022年度 活動団体応援プログラム 活動報告書
〔外遊びプロジェクト てのひら〕（北海道北見市）

【団体紹介 HP（遊び場マップ）】 <https://www.bouken-asobiba.org/play/asobiba-325.html>

1年間の活動の概要

【6月5日】たき火で暖を取りながらシャボン玉や鬼ごっこ、裏山散策など思い思いの遊び場となりました。【6月23日】森の中の小川で水遊びがしたい！と夏の水遊びに向けてメンバーとお友達でオホーツクの森の下見へ行きました。7月の本番は大雨で中止となってしまいました。【9月11日】仁頃山に登りました。登山ボランティアさんに同行していただき、大人から幼児までそれぞれのペースで登ることが出来ました。【11月3日】段ボールで家づくりや尻すべり、落ち葉プールや焼き芋、大縄跳びなど秋を満喫の遊び場となりました。【1月21日】ソリ滑りと、雪中アイスクリーム作りが大人気！たくさん動いた後のアイスは最高の味でした！

次の1年間でチャレンジしたいこと！

・水遊び、泥遊び、雪遊びを深めたい。・森の小川や山など自然の中での遊びも増やしたい。・リスク&ハザードについて、踏み込んで体系的に学べる機会を持ちたい。・小学生の参加も増えてきたので、各々の居心地がよいを前提に、一緒に遊び場づくりができるような空間づくりを目指したい



▲（2022年6月5日開催）

【運営メンバーから一言！】

感染症による制限も緩和されて、少しずつ「みんなで外遊び」ができるようになってきたように感じています。

我々も、そして遊びに来る方々も、遊び場に慣れてきて、設営準備などを一緒にできるようになってきました。

内容も気張ることなく、自分たちのできる範囲で開催できているので、継続！を目標に、これからも活動していきたいと思えます。

（代表 齊藤裕子）

【協会から応援メッセージ！】

外遊びを子どもと大人がいっしょになって体験し、仲間を広げている様子が伝わってきました。

準備、設営、片付けも、楽しみながらみんなでわいわいできるのが外遊びのよいところですね。

少し足をのばすだけで裏山に入れるような地の利を活かして、いろんな場所と遊びを開拓していけるのも羨ましいです！

（理事 齋藤啓子）



▲（2022年1月21日開催）

活動団体応援プログラムは、各地の冒険遊び場づくりを全国の仲間たち（協会）が応援するプログラムです。参加をご希望の方は、日本冒険遊び場づくり協会までお問い合わせ下さい。【協会HP】 <https://bouken-asobiba.org>